

学生からのメッセージ

先生方の指導について  
いけば必ず

福岡歯科大学 第5学年



私は歯科技工士として市内の歯科医院等で働いていますが、歯科医師の姉の勧めで自分も歯科医師になろうと決心し、3年前の4月に本学に編入させていただきました。

「全科目 80点以上、総合試験 75%以上」。編入して初めてのオリエンテーションで掲げられた目標です。以前通っていた大学でいわゆる落ちこぼれ学生だった私にとってこの目標は、少々厳しすぎるのではと思う目標に感じました。実際、編入してすぐに受けた試験では75%には遠く及ばない惨憺たる結果で、進級さえままならないのではと思うほどでした。

そのような不安な気持ちでいる時に、退職された岡部先生(前細胞生理学分野教授)が、「勉強中に分からない事があればそこに付箋を貼ってとりあえず先に進んで、後で調べたり質問するなどして二つずつ分からない所を潰していけばいい」という勉強法を教えてくださいました。この勉強法のおかげで、初めはわからない事だらけだった基礎科目が少しずつ分かるようになり、学ぶ事の楽しさも感じるようになりました。

昨年度末にはCBT試験がありました。簡単な試験ではありませんでしたが、これまでの講義や実習で学んだ事を思い出すことで乗り切ることができました。

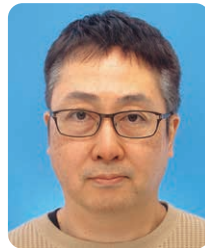
今年度は登院実習と国家試験合格のための勉強に励んでいます。登院実習では、実際に臨床の現場を見ることで、昨年まで学んだ知識の確認だけでなく、日々新しい発見と学びをさせていただいています。

CBT試験でもそうでしたが、先生方の指導についていけば必ず国家試験も合格できると信じて、今後も楽しく学園生活を送りたいです。

保護者からのメッセージ

「勇往邁進」目標に向かって  
頑張るのみ!

福岡歯科大学 学生後援会理事・評議員



学生の皆さんにおかれましては、少しずつ日常を取り戻しつつ健やかに日々をお過ごしのことと推察いたします。約3年間のコロナ禍が、皆さんの貴重な6年間のキャンパスライフに良くも悪くも様々な影響をもたらしてきましたが、ようやく穏やかな日常が訪れそうです。今後は今までの制限されていたオールデンタル等のイベントも従来通り行われていくと思います。私は部活動等の本来、学生生活の基盤の一部となる活動も学業とは表裏一体でとても大事なことだと思っております。今後、学業のみならず部活動もぜひ積極的に頑張ってください。とはいえ、何よりも皆さんの最大の目標は国家試験の合格です。継続は力なり!自分を信じて国家試験合格に向けて日々の努力を怠らず、まずは各学年で与えられた課題をしっかりとクリアしていきましょう。約3年間のコロナ禍が学生生活6年間のどの時期に当てはまったかにより各個人の思いも様々だと思いますが、それぞれの目標に向かって邁進し、学生生活の残された時間を悔いのないよう有意義に過ごしてください。応援しています。

New Sophia  
コラム

マツヨイグサ

叙情的な女性の絵画で知られる竹久夢二の作詞した歌に「宵待草」というものがある。「待てど暮らせど来ぬ人を 宵待草のやるせなさ」と始まる歌で、夢二が南房総の小さな島で経験した、実ることのなかった儂い恋がこの詩の着想だと言われている。実際には「宵待草」の名を持つ植物はなく、夏の日に夢二の目にとまったのはマツヨイグサ *Oenothera stricta* である可能性が高い。

マツヨイグサはアカバナ科の一年草で、観賞用として南米から移植されたものから広がったとされている。日の入る頃に直径5cmほどの黄色く艶やかな花をひろげ、夜の間は咲き続けるものの、翌朝には赤黒く変色して萎むことから、儂い一夜の恋を象徴するかのよう感じられたのだろう。夢二自身も正式な和名のこととは知っていたようで、楽譜の初期の版では「待宵草」、後の版では「宵待草」となっている。語感の美しさにこだわって、あえて修正したとする説が有力。私も宵待草に一票。(内藤徹)



編集後記

青空と白い入道雲のコントラストが美しい季節がやってきました。学園の各大学ではオープンキャンパスが開催され、多くの皆様にご参加いただいています。次月以降も開催されますので、学園の話にある日程をご覧いただき、ご参加いただければ幸いです。他にも種々の話題を掲載しておりますので、ゆっくりとお楽しみください。